



知っていて安心 災害時の通信手段

地震などの災害が発生した際に、まずは身内の安否が心配になるかと思います。
「電話をしたが、つながらなかった」そんな経験をされた方も多いのでは。
そんな時、どうしたら良いかあらかじめ知っておきましょう。

災害発生直後は電話もインターネットもつながりにくい

災害が発生すると、被災地への安否確認などの電話やインターネット通信が集中することでつながりにくくなります。また、通信設備の許容量を超えてしまうとシステムダウン等が発生する恐れがあるため、NTTなどの通信会社では、それを避けるため通信を制御し、重要な通信（緊急通報等）を優先的に確保する動きをします。そのため、一般の通話や通信はよりつながりにくい状態となります。



災害用伝言サービスを活用しましょう

電話やSNSなどがつながりにくい中、確実に安否確認ができるように「災害用伝言サービス」を活用しましょう。

災害用伝言サービスには、音声でメッセージを残す（確認する）「災害用伝言ダイヤル」と、データ（インターネット）でメッセージを残す（確認する）「災害用伝言板」があります。

災害用伝言ダイヤル

- 1 をダイヤルします。
- 2 ガイダンスにしたがって、メッセージの再生か録音を選びます。
- 3 連絡を取りたい被災地の電話番号を市外局番から入力します。
- 4 ガイダンスにしたがって、メッセージの再生か録音をおこないます。



災害用伝言板

- 1 スマートフォン・携帯電話からアクセスします。
(各社公式サイトトップ画面に表示されます。)



【メッセージを残す】

- 2 伝言板の「登録」を選びます。
(登録は被災地エリアからのみ可能)
- 3 現在の状態について選択肢から選び、
任意のコメントを入力、
最後に「登録」を押します。

【メッセージを見る】

- 2 伝言板の「確認」を選びます。
(確認は全国からアクセス可能)
- 3 安否を確認したい人の携帯番号を
入力し、検索、メッセージを確認
します。

体験利用ができます。(毎月1・15日、その他特定日) ぜひ一度練習してみてください。

スマートフォンが“圏外”になってしまったら

災害発生時、無料のWi-Fi回線(OO000JAPAN)が開放されることがあります。公衆無線LANが提供されている場所で、IDやパスワードなしで利用できます。



セキュリティ面で不安があるため、お金や個人情報のやり取りに利用するのは避けましょう。

どうしても連絡を取りたいときは

LINEなどのインターネット回線を用いた通話アプリを利用してみましょう。また、固定電話や携帯電話よりも公衆電話の方がつながりやすいので、急を要する場合は試してみてください。



災害発生直後の緊急連絡に影響を与えないよう、極力連絡は控えましょう。

災害時にどのような方法で連絡を取り合うか、家族間なのであらかじめ決めておくと安心です。

参考：ソニーネットワークコミュニケーション「令和版ネットの防災マニュアル」
NTT 東日本ホームページ「災害用伝言ダイヤル」
総務省ホームページ「災害用伝言サービス」